

2021年5月23日(日) メッセージアウトライン 「ペンテコステに起こったこと」

聖書箇所：使徒の働き 2：36～42

タイトル：「ペンテコステに起こったこと」

テーマ：使徒の働き 2章には、ペンテコステに起こったことが、3つに分けて記されている。

イエス様が地上生涯を送られた時、弟子たちに繰り返し語られた約束の聖霊（ご自分がこの世を去ると、助け主なる聖霊が来られる）が、ついにこの日に、弟子たちに下ったのである。

この日なくしてクリスチャンの人生は始まらない、具体的に3つの出来事を見ながら、その中でも聖霊が来られた日が、教会の誕生日となった事実に着目してみよう。

イエス様が来られる前と後で、西暦は紀元前、紀元後に分けられた。聖霊が来られる前と来られた後は、教会が誕生したことこそ、世界を変えていく分水嶺となったのだ。私たちの人生もイエス様を信じる前と信じた後、聖霊のバプテスマによって教会のかしらであるイエス・キリストと一つにされたことが個人の生き方の分水嶺になっている。当時の人々の変化と重ね合わせて、今、与えられている恵みをあらためて考えてみたい。

1. 聖霊が下られた！

①五感で捉えられるかたちで

*激しい風のような響き（耳で聞こえる）使 2：2

*炎のような舌（目で見える）使 2：3

その聖霊を受けた者が他国の言葉で話し始めた。

②ペテロと11人の使徒たちに起こった変化（臆病者から大胆な者へ）

*イエス・キリストの十字架と復活の意味を旧約から解き明かし、天に上げられたイエスが約束の聖霊を注がれたのだと証言した

③教会の誕生（使 2：41、42）

2. 教会はどのように誕生したか？

①ペテロの説教を聞いて心刺された（罪を示された）人々

聖霊によって変えられたペテロの語る言葉は人々の心をも変えた

②聖霊の働き（ヨハネ 16：7～15）

*罪について、義について、さばきについて明らかにする

*真理を示す

*キリストの栄光を現わす

この聖霊の働きによって、ペテロの言葉を自分に語られた神のことばと受け入れた

人々がバプテスマを受けた。「私たちはどうしたらよいのか」

「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば賜物として聖霊を受けます。」

悔い改め→バプテスマ→聖霊を受ける（キリストにあって新しい命を受けた者への神からのプレゼント、この世のものではなく神のものとされたしるし）

*主なる神が召して下さる人ならだれにでも与えられる聖霊

③バプテスマの意味って何？

3. こうして生まれた教会の特徴

- ①彼らは使徒たちの教えを堅く守った
- ②交わり
- ③パンを裂く（愛餐）聖餐式の重要性
- ④祈り

4. 結論

- ①教会の出発点
- ②教会の使命